

空間再生事業 劇団 GIGA  
ガルシア・ロルカ悲劇三部作  
第二章

悲ふ  
劇う  
劇ふ

イエルマ  
無料配布読物

## 【はじめに】

ガルシア・ロルカ悲劇三部作上演プロジェクト第二章「イエルマ」を上演します。

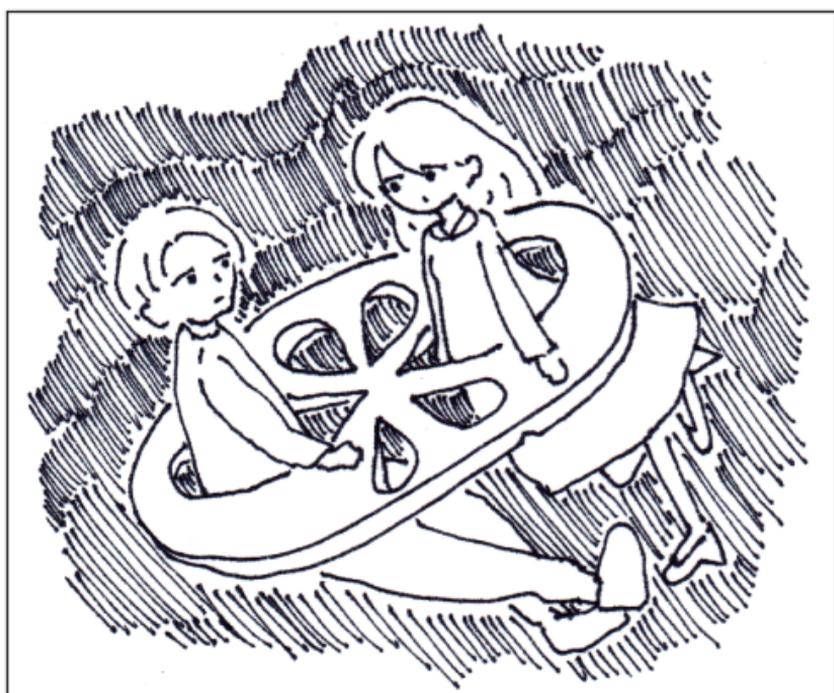
イエルマは、(不毛な)という意味のスペイン語です。

イエルマという名前の妻が、子どもを授ろうと夫婦で苦闘する悲劇の物語です。

【悲劇・夫婦】をテーマにしたエッセイと悲劇夫婦の脚本をお届けします。

観劇前、観劇後にご覧ください。

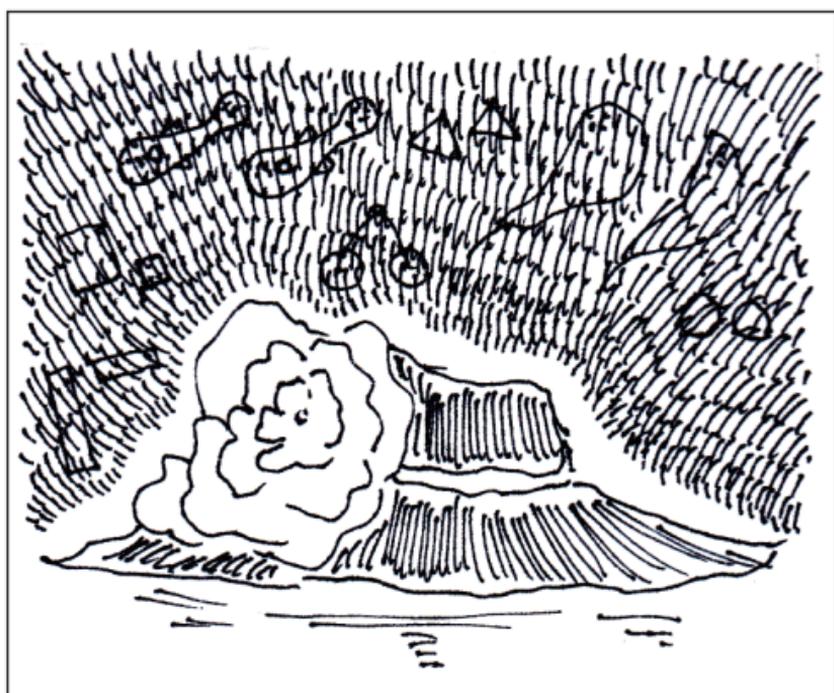
悲劇ある世界の中で、逞しく生きる女の姿をお楽しみください。



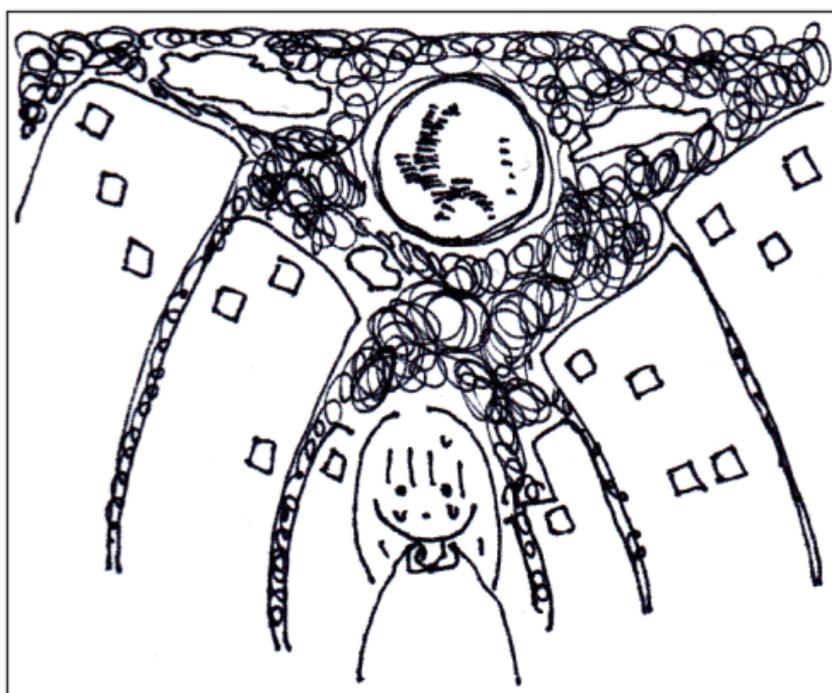
### 【辛子蓮根事件】

「夫婦」といえば思い出す、実家の隣の家の夫婦喧嘩が激しくて小さい頃はよく耳をそばだてた。恒例の「ガシャーン！パツリーン！」と、皿を投げ合う音でその晩も開戦した。二人の激しい怒号の中から「俺に辛子蓮根食べさせやがって！殺す気かあ！！」と、聞こえてきた。時は1984年、世間を騒がせたあの辛子蓮根食中毒事件の最中だった。事件を知らなかった私に母が、「隣の奥さんが熊本の人だから食卓に辛子蓮根をだして喧嘩になったんじゃない？全ての辛子蓮根がダメな訳じゃないのに……。」と、話してくれた。奥さんの顔にはよく青アザができていた。でも近所の心配をよそに奥さんがSOSを発することも別れることもなく、奥さんが一方的にやられてる印象もなく、子供には理解できない夫婦関係だった。そして二人は引越していった。あれから辛子蓮根は二度と食卓にあがることは無かったのか？今も夫婦なのか？気になって仕方ない。

山田恵理香



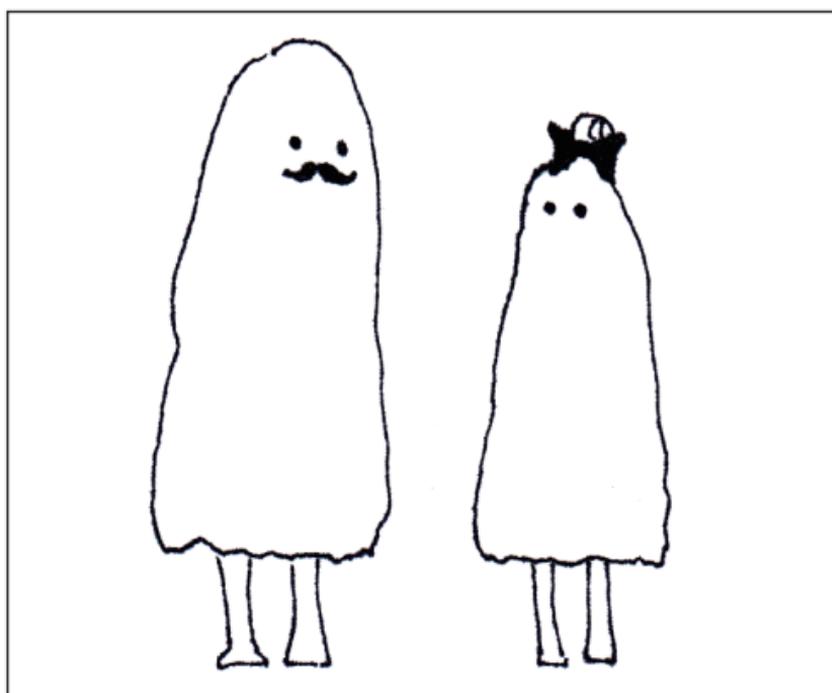
【遠い目はしないんじゃないかな】  
「夫婦の悲劇を上演するんです」と言うのと、「ああ、うちのことで  
すね・・・」と、遠い目をして、  
少しの笑いを浮かべながら答える  
人たちがたくさんいました。どん  
な悲劇があるんだろう？僕の父と  
母はアニメと特撮と漫画が大好き  
で、それがきっかけで出会って結  
婚したらしい。オタク第一世代と  
いうやつです。コミケや同人誌の  
スタートラインです。二人が結婚  
して僕が生まれてからも、二人で  
アニメーションフェスティバルや  
コミケに出かけてはホクホクして  
いた。どんなに悩みそを絞りに  
絞っても、二人のことを夫婦と感  
じたことがないことに気づく。父  
親と母親。一人と一人。もしくは、  
僕も含めた家族。ということにし  
か感じていない。僕が1歳の誕生  
日の写真、結婚当初の二人は、若  
くて大ニコニコだった。その写真  
の4年くらい前に二人は夫婦に  
なったらしい。二人がもし、どこ  
かの誰かに、「今度、夫婦の悲劇  
を上演するんです」と言われたら、  
なんて答えるんだろう。五味伸之



### 【夫婦（仮）】

25歳。記念日に大企業のサラリーマンである彼と海が見えるチャペルで結婚式。2年の交際を経て晴れて【夫婦】となる。そこそこ裕福に暮らせるくらい稼げる【夫】1年後高級住宅街に一軒家を建てる。「実家みたいに玄関、お風呂はそこそこ広くないと嫌!」「あと絶対対面キッチン!」そんな要望を全部聞いてくれた優しい【夫】怒っても怒鳴ったり物に当たらず「話し合おう」と言う冷静な【夫】山○賢人みたいな塩顔イケメンの【夫】いつでも私だけを愛してくれる【夫】その1年後男の子を妊娠出産。子供の世話を手伝ってくれる【夫】「子育てで疲れてるでしょ?」と気遣ってくれる【夫】三人で沢山出かけたり旅行に行ったり思い出を作る。30年後。のどかな田舎に引っ越す。山へ行ったり、遠出して最後まで二人で健康に穏やかな時間を過ごす。これが THE 理想。でも色々妥協しないと、一生独り身?

八尋香菜



### 【私が思う夫婦】

許したり、許されたりしあえる関係。二人の形が自然と心地よい方向に変化して、いつの間にか落ち着いている。何かあれば話し合ひましょう。しばらくして、また何かあった時には、また話し合ひましょう。その先も、そのまた先も。

おフロはのぞきましょう

新聞はぱたぱた

蛇口は閉め過ぎず

歌をうたいます

夜は静かに

起こして行って

大変な人は王様

川に行こう

川に行こう

川に行こう

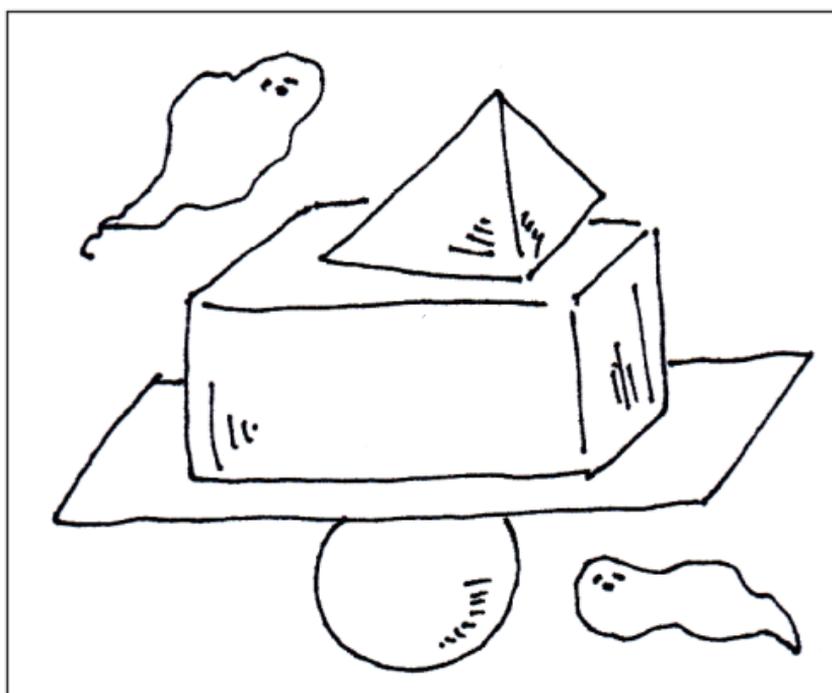
こっそりこっそり

夜は散歩

夢を話して

夢を話して

宗真樹子



【結婚して良かった】

こんなに気持ちが安らぐなんて。  
それから30年40年…。

☆お祖母ちゃんお母さんに大切に育てられた夫は林檎の皮もむけない。すぐそこの湯呑みも妻にとらせる。

☆入院した妻のベッドの横で「オレの飯は？」という夫。

☆いつも午前様の夫は、妻が外出するのをいやがり、誰と会うのか何の用事なのか何時に帰るのかとしつこく聞く。

☆食事は、夫と妻それぞれで作って別々の部屋で食べる。家庭内別居状態。

いてくれるだけで、心の支えになる。そういう間柄であり続けられたらいいな～。

中村とし子



### 【仲直り】

私の両親は駆け落ち婚だ。当時の父がバツなのか年が離れていたせいか、家族から大反対を受けた母。しかし母は絶縁覚悟で家を飛び出し父の元へ。そして生まれた私。それがきっかけで家族へ挨拶し、孫誕生にとても喜んで貰った。「佳美のおかげで仲直りできた」と母は話した。なんてドラマ。良い御話ちゃんちゃん…。数年後、私の両親は離婚した。母は毎晩悲しんでいた。親戚から言われたのは当時私ができたことは予想外だったとのこと。もし私ができなければ駆け落ちは気の迷いだった！で直ぐ離れていたかもしれない。「私が悲劇を生み出したのか！」としみあった被害妄想をして、母に喧嘩を売った。が、即怒られた。「あんた達がいたから心中せず済んだのよ！」と。え、あ、そっか、よかった…と私達はすぐ仲直りした。なんてドラマ。でも、曝け出す母を見て益々好きになった気はする。さて、両親は夫婦になれてよかったのか。私はイエスと思いたい。

松尾佳美



### 【夫婦に乾杯】

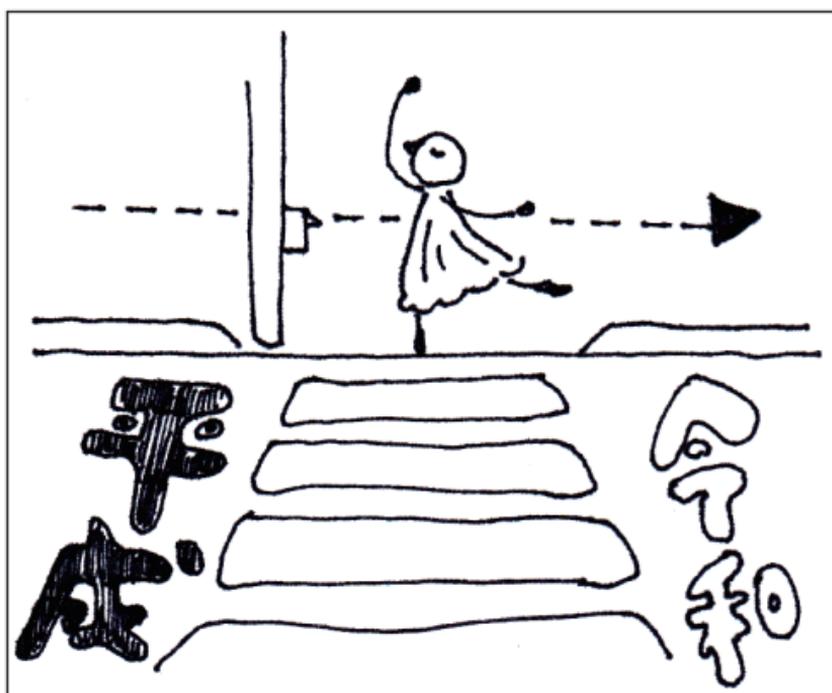
30になって、普通を疑わない母親からは「結婚は？」と聞かれるけど、パートナーは僕には必要ないと思っている。僕の問題は自分で解決したいし、だったらしたい事は共有っていう事になるのだけど、それって友達とも出来るし、性的な接触という事になれば僕は多分どこまでも暴力的に甘えたいので、僕自身が心苦しくなるため自慰行為で解決したい。それに契約を結んだ際に発生する男として、女としてみたい役割は何か苦しいし。でももし仮に結婚を考えた時、何よりも大事なものは夫婦や家族という関係になった途端にお互いが通じあってるなんて幻想を持たずに、夫婦や家族というのが個人が形成する単なるコミュニティという僕の認識を共有してくれる人がいい。生活の共有は、個人対個人の探求でありたい。男にも女にもなりたくない僕は、自宅でサンドイッチをこさえながら、黒い兎に乗った死に神を待っている。



### 【敗北のバラッド】

僕は幼い頃から、夫婦喧嘩で負けた親父の姿を何度も見てきた。負けた後の親父の姿は、納得できずに一人でムスツとしていたり、無理やり雰囲気をよくしようとはしゃいで空回りしたり、けろっとした顔でアイスを頬張りながらテレビを見ていたりと様々。僕は幼い頃から、そんな親父に憂いを帯びた視線を送っていた。ある日、親父から言われたことがある。「いいか宏人、もしお前が結婚したら、これだけは忘れるな。奥さんと喧嘩したら、最終的には必ずお前が負ける。悔しくても、お前が惚れぬいた女なら、お前が負ける。」なるほど、自分を押し殺し、惚れぬいた女性を傷つけないために自分が負ける、それがあんたの生き様だったのね。わかる、わかるぞ親父！しかし、親父の言葉の続きはそうではなかった。「勝とうと思うな、そもそもお前が勝てる相手じゃない。」親父はなぜか幸せそうに笑っていた。二人は今でもとっても仲良しです。

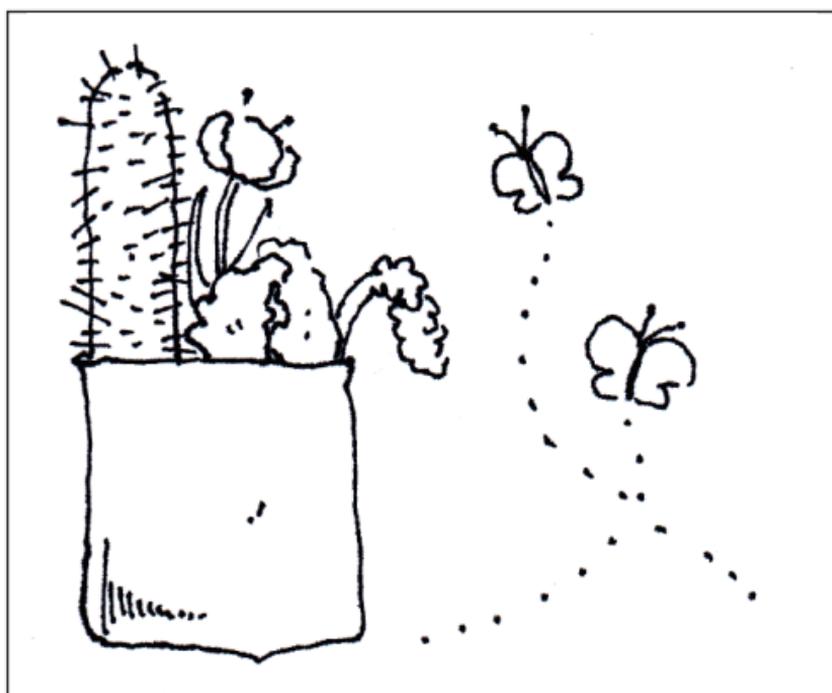
田島宏人



【5月1日】

新しい元号、令和になる。しかも大安。そうか、そうだ入籍しよう。さてどうしよう？ググってみると、必要な書類は婚姻届と戸籍謄本。戸籍？住民票を取り寄せ、戸籍謄本を郵送でお願いした。婚姻届は区役所で「婚姻届ありますか？」受付のおじさんに尋ねると、一瞬間があり、奥の引き出しから「結婚 & 家族生活はじめるBOOK」という冊子と共にいただいた。さらに5月1日は区役所はお休みなので、守衛さんに時間外受付もしっかり尋ねておいた。区役所を出ると「5月1日に入籍ですか？オープントップバスで入籍しませんか？」とイベントを企画している方から声をかけられた。いやいやもっと若い方にお願いして下さい！と。あちらの戸籍謄本が県外なので取り寄せなくてはとしているうちに5月になった。けれどもよくよく調べてみると、戸籍謄本はどちらかの戸籍に入るなら必要なし、と。せっかく取り寄せたのに。それなら間に合ったのに（笑）

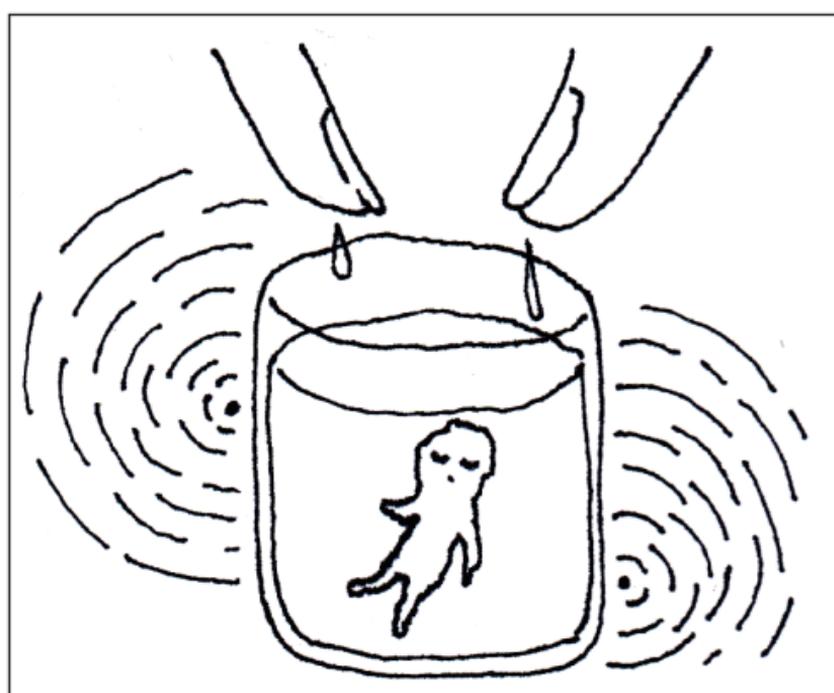
真吉



### 【理想の夫婦は難しい】

夫婦はお互い成長しあい、工夫協力して家庭をまわす。そんな理想の夫婦像に憧れて頑張りすぎると、夫婦仲はぎくしゃくする。私たち夫婦の場合、というか私の場合。夫は結婚してから18年間マイペース。部屋が汚くてもご飯が適当でも、きにしない。対して私は、ちゃんとしたい！と急に頑張っては「ちゃんとしてくれない！」と怒り、ちゃんとできない！と自分のがっかりしては「あなたがしてくれないから！」と責任転嫁もはじめる。よろしくない。ので、次は相手にも自分にも期待せず、あきらめの精神でいくことに。そうすると確かにイライラはしなくなってきたけど、やりすぎて生活に対する欲も相手に対する執着もなくなり、生きること自体がどうでもよくなりはじめた。一見平和だけどこれもよろしくない。そんなこんなで夫婦生活、いまだに試行錯誤中。理想の夫婦像をもとめると理想の夫婦から遠ざかることだけは、私の場合、確かなようです。

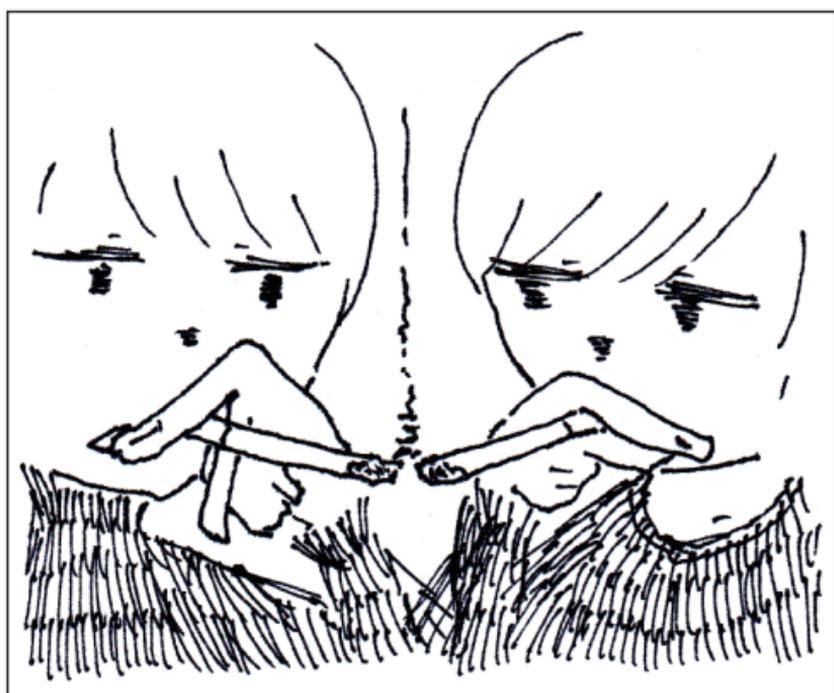
峰尾かおり



### 【夫婦とは】

それは、僕がしりたい不思議な関係かもしれません。他人と暮らす、でも他人じゃない。死んだらお墓が同じ？嫁に行く？婿に行く？こどもができたら血がつながる。夫婦は血の繋がりはない？不思議ですね？しかし、自分の両親を見たらとても強くて、優しくて尊敬と感謝しかありません。両親とは血の繋がりがあがるが、父と母は、血の繋がりがありません。なんか、不思議な感覚です。夫婦それは、血を超えた関係なのか、超えられない何かも潜むのか、色々あるかもしれません。それを、探していくのも夫婦かもしれませんね。

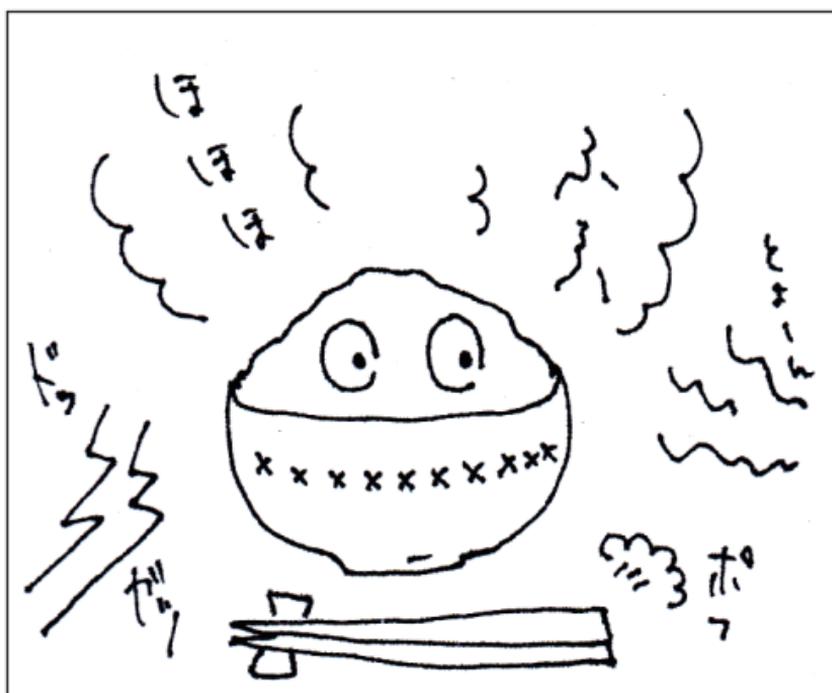
藤城道博



### 【悲劇・夫婦】

夫婦は身内ではあるが所詮赤の他人である。いや、純粹な赤の他人ならまだ大人な対応が期待出来るだろうが、身内であるが故に、遠慮がなく礼儀を欠く事があり赤の他人よりたちが悪い。夫婦は赤の他人なのだからお互いに理解し合える事は有り得ない。もし仮に理解しあえていると思っていたとしたら、それは幻想でしかない。この事が悲劇の始まりなのである。解り合えている、理解していると思いついていて、噛み砕いて話す事をしなくなる。場合によっては口に出すことすらなくなる。聞く側も皆まで聞かず解った気になる。場合によっては聞く耳を持たなかったりもする。こうなると少しずつ齟齬が生まれる。小さな齟齬の蓄積はお互いの信頼感を蝕み……。身内だからという甘えのせいなのか幻想から抜け出せないせいなのか、齟齬は苛立ちに変わり次第に嫌悪感にまで醸成されていく……。しかし、そんな悲劇を味わうことも人生の醍醐味であろう。

大島えいすけ



【26歳が聞くふうふのおと】

フーーーーわ！フーーーーわ！  
 ふーーーーふーーーーわんっ、、わんっ  
 わ、わあ、、わ、、わアア～ねン！  
 ふわ？ふわアあ？？ ふわふわっ  
 ふわっふわーーーーあーーーーうーいー  
 フーーーーフゆーーーーうー  
 フーーーーーーふーーーー  
 ふん？ ふんふん？  
 ふん、 ふおん！  
 ふえおん！！！！  
 うーうーうーうーうーうー  
 ふワウ、ふワウ、、ふワってる  
 ふワっウ、、、ふワうふふ！  
 うフうフう  
 ふワって！  
 みんなふワってエ！！！！  
 ふワ っ て ～ ～ ～ エ エ エ エ エ  
 うフフフフうフうふっ  
 ウプっ、、うフフフ、ウプっ！！  
 ウイえっぶ！ー  
 うフーうーううううー  
 ぐぐぐーうううううウウウ  
 あ あ あ あ

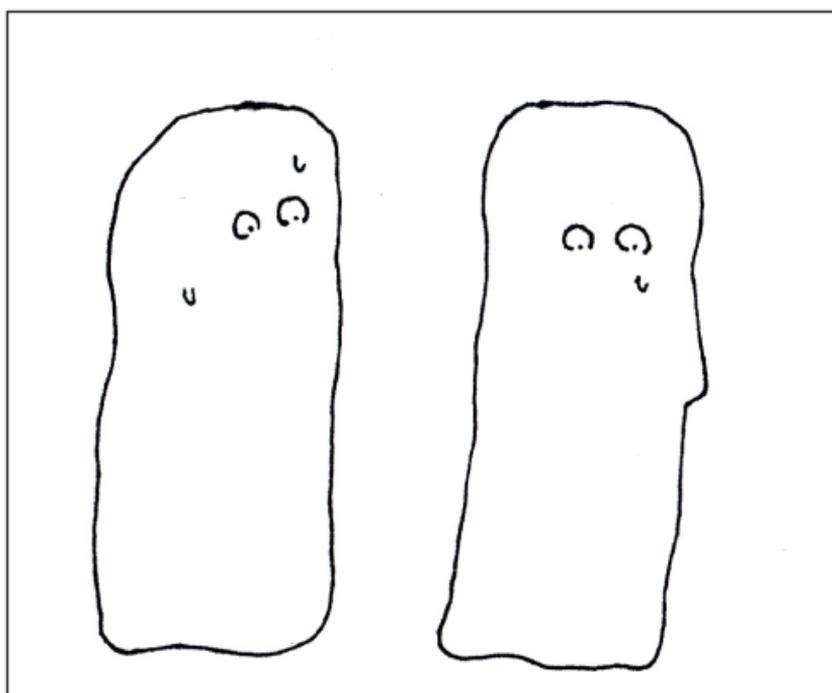
あ！  
Hotaka



### 【そんなフィクション】

「恋人なんて口約束。法的に拘束したい」そう言う彼女の両目は湖。ゆらゆら揺れて光が漂う。「それで貴女は幸せなの？」指元から上がる煙を眺め彼女にきいてみた。「微かでも愛があって」湖が揺らぐ。「もし彼が法を破って」嗚呼、今にも。「世間的にも法的にも彼を責める事が」決壊「許される時が来たのなら」前髪の間から彼女を見やる。「それが私の一番の幸せだから」口と目が繋がった。「そ」2本目の煙を彼女に吹きかける。秋の頃には彼女の結婚式。その時には、きっと私の湖も決壊。あの頃は、いや、いまでも。私なら貴女を幸せにできたのに。法律では私と貴女は繋がれない。それを言い訳に心で貴女と繋がるのを諦めたのは私。あーあ、遠い、遠いなあ。きっと世界で一番綺麗な花嫁姿。世界で一番見たかったのは私なのに。

せとよしの



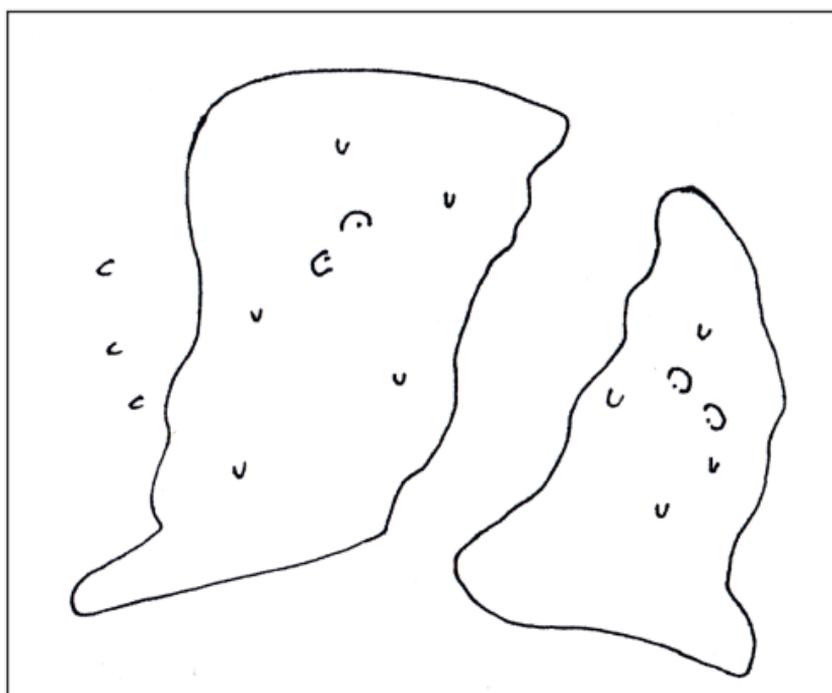
### 【勇者真澄の悲劇夫婦脚本】

占い師MOZA☆魔巢見の顔を持つ勇者真澄が、実際に見聞きした夫婦喧嘩のエピソードを元にした夫婦の悲劇脚本：ゆきこ

皆さんこんにちは。

今回は「夫婦とはなんぞや？」を共に考えてみましょう。

取材協力をいただき、実際の夫婦の喧嘩のエピソードを脚本にしました。



妻、シンク台の前で思いつめた様子。夫は気づいているが、気づかないふりで食事中。

妻：全部知ってるよ。

夫：え？

妻：浮気してるだろうと言ってるんだよ！

夫：…ごめん。

妻：（キッと睨み）謝るんなら、本当に浮気してるんだね。

夫：えっ？

妻：もしかしてと思ってカマをかけたら本当にしてるんだね。

夫：最悪だね。そういう性格の悪いところが、実は10年前から嫌だった…。

妻：（遮り）棚に上げてものを言わないでよ。今は浮気の話だろう。ゆきこだか、みゆきか、知らんけど。

夫：…！

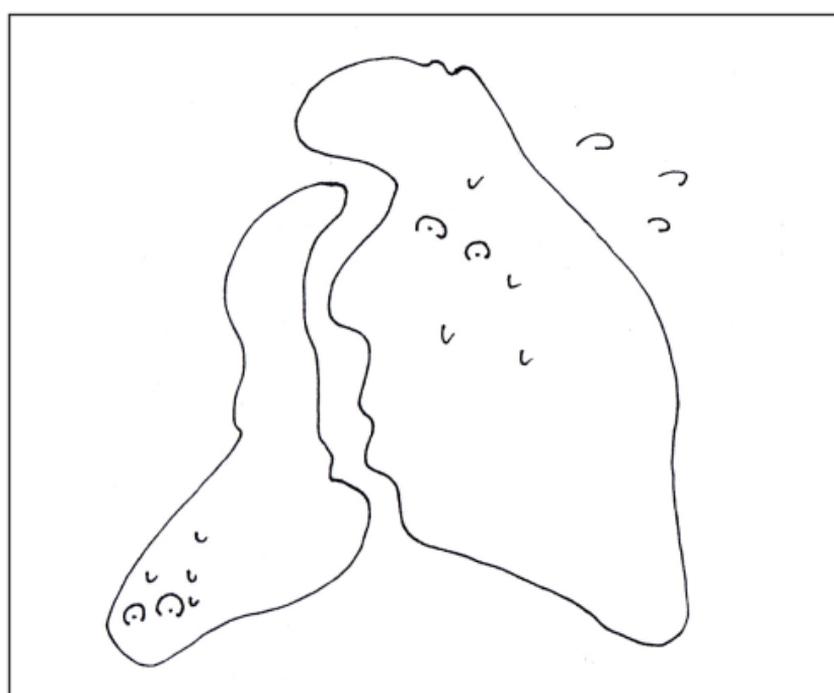
妻：合ってるの？もしかして。

夫：いや…。

妻：離婚はしないからね。

夫：…。

妻：するならこの家と2000万払え。



夫：結局金か。

女はいつもそう、金、金。

妻：なんとでも言えば良い。金出さないなら別れないからね。ゆきこだかみゆきのところに行って、女房が別れてくれないどうしようと言ってこい。なんなら電話してやる。携帯かして（携帯を奪おうとする）！

夫：悪かったから、悪かったから

妻：セックスレスなのは女が原因なんだね！

夫：悪かったから！頼むからゆきこは関係ないから！

妻：ゆきこ…！

夫：（しまったという顔）！

妻：絶対に許さないから。ゆきこもお前も！

夫：はあー…はあー…はあー！

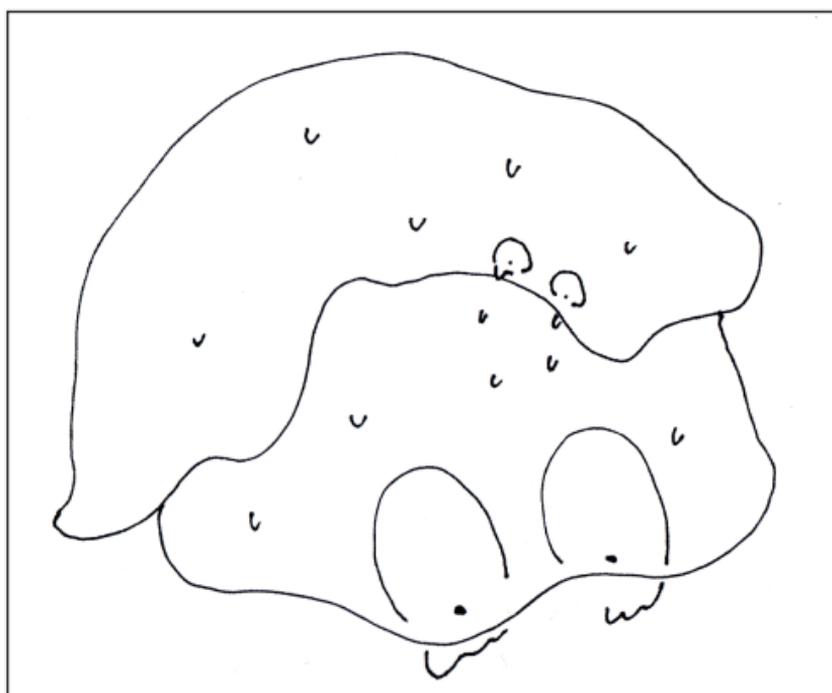
妻：なんでお前が溜息なんだ！こっちが溜息だろうが！

夫：わかったよ！別れたら良いんだろう！金払って別れるよ！

妻：ゆきこは手切れ金があるんか？

夫：お前だよ！もう良いよ！

妻：！勝手にして！！（号泣）



さて、夫婦とは面白いもので、この二人は離婚しませんでした。夫はゆきこを捨て、妻を選びました。何故でしょう？うまくいってないように見えても、夫婦には、他人にはわからない不思議な絆があるものなのかもしれません。他人同士でも、いつしか血縁以上の絆ができていくのが夫婦です。勿論、この二人のようにハッピーエンドになる夫婦ばかりではありませんが…。

猛者真澄

---

### 【MOZA☆魔見巢のタロット占い】

毎月2回予約制にて対面占いをしております。お気軽にお問い合わせください。

場所：cafe & bar gigi

福岡県福岡市中央区清川 1-8-10

ペンギン堂ビル 3F

料金：500円（2つ占えます）

+要ワンドリンクオーダー

問い合わせ

電話：090-9484-4616

メール：kodomoneko@softbank.ne.jp